

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月29日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	消防団活動事業	コード	94201
-------	---------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 消防課	作成者 増澤 亘司
--------	--------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	消防・救急体制の充実
		予算科目	消防団活動事業費	業務委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	消防組織法第9条		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市民の安全、安心の確保を図るため、地域防災の中核的存在としての消防団活動全般		
目的	対象者	市民	
	意 図	火災等の災害から、市民の生命、身体及び財産を守り、安全・安心な都市の形成	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<消防団出動> 【出動：416件 延出動人員：8,412人】 ①災害等出動 （内訳：火災13件/風水害2件/演習143件/捜索0件/広報指導21件/特別警戒49件/調査95件/その他84件） ②実践を想定した訓練 実施回数143件 延出動人員3,327人 （主な訓練：消防団消防署合同訓練46人/岡谷市消防操法・ラッパ吹奏大会319人） ③岡谷市消防出初式 出動人員305人			
前年度の課題への対応	特になし		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 活動指標（指標名）	訓練等実施回数			単位
実績値	3	3	3	
*指標の説明	岡谷市消防出初式、ポンプ操法・ラッパ吹奏大会、中継放水訓練への参加			
② 成果指標（指標名）				単位
目標値	1,070	1,070	1,070	
実績値	692	692	624	
達成度	64.7%	64.7%	58.3%	
*指標の説明	出動報告による			
*目標値の設定方法の説明	団員実員×3回の65パーセントを目標とする。			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	67,654,429	67,742,660	65,442,137	73,680,000
経常経費	67,654,429	67,742,660	65,442,137	73,680,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	15,200,000	15,200,000	15,200,000	15,200,000
正規職員の人数(人)	1.90	1.90	1.90	1.90
③ 合計コスト(①+②)	82,854,429	82,942,660	80,642,137	88,880,000
前年度比		100.1%	97.2%	110.2%
財源				
一般財源	71,370,879	72,653,858	70,578,436	77,743,000
内訳				
特定財源	11,483,550	10,288,802	10,063,701	11,137,000
* 特定財源の説明	消防団退職報償金収入、公務災害補償金等収入、遺族補償年金収入、福祉共済事務交付金収入、福祉共済返戻金収入			
④ 活動一単位あたりコスト	27,618,143	27,647,553	26,880,712	
前年度比		100.1%	97.2%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
諏訪消防協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	592,182	590,202	586,758	577,000
分団運営交付金	件数	1	1	1	1
	金額	7,411,300	7,411,300	7,411,300	7,412,000
団長会議等出席負担金	件数	2	2	2	2
	金額	14,000	14,000	14,000	14,000
団員等公務災害補償基金掛金	件数	1	1	1	1
	金額	1,218,611	1,218,548	1,218,548	1,219,000
団員退職報償基金掛金	件数	1	1	1	1
	金額	10,540,800	10,540,800	10,540,800	10,541,000
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	19,776,893	19,774,850	19,771,406	19,763,000
	割合	29.23%	29.19%	30.21%	26.82%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 90.2%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 58.3%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受け、団員確保。公務員の入団促進、処遇改善、装備の充実、教育訓練の標準化等が課題である。</li> <li>・上記に合わせ、「消防団員の負担軽減」についても検討する必要がある。</li> <li>・消防団ポンプ自動車の更新事業に取り組む必要がある。</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団員確保対策として、魅力ある消防団づくりとして「消防団サポートショップ制度」「消防団協力事業所表示制度」「岡谷市入浴施設補助制度」を継続する。</li> <li>・活動服への切換え、安全機能付無線機の更新を図ったが、装備を充実させ活動時の安全確保対策として、平成31年度は防火衣の整備を図る。</li> </ul>	
	改善開始時期	平成31年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---